

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

年齢とともに増える肌トラブルの原因はスキンケア習慣 -皮膚バリアの科学的真実-

スキンケア製品の効果を引き出すための方法(与える方法・ラッピング方法・消す方法・隠す方法)と基剤(合成界面活性剤)を毎日のように使うスキンケア習慣が、年齢とともに増える多くの肌トラブルの原因となります。これは皮膚科学の事実です。

スキンケア製品の効果を引き出すための方法「水分・保湿成分を肌に与える」や技術「どのように成分を浸透させるか」や基剤(合成界面活性剤)は、皮膚バリアの状態、つまり皮膚バリアが正常に機能するかどうか大きな影響を与えます。

特に洗顔料や乳液・クリーム・美容液・日焼け止め・メイク化粧品などのエマルジョン化粧品に配合される合成界面活性剤は、肌に負担をかけるため、長期間使用することで皮膚バリアが損なわれ、皮膚バリア機能が低下し、年齢とともに増える多くの肌トラブルの原因となります。

スキンケア製品の効果を引き出すための方法(与える方法・ラッピング方法・消す方法・隠す方法)と基剤(合成界面活性剤)を毎日のように使うスキンケア習慣が、年齢とともに増える多くの肌トラブルの原因となるという、この科学的事実を多くの消費者は知りません。

方法の具体例:

- 与える方法:水分・保湿成分を肌に与え、肌を湿らす方法
- ラッピング方法:水分蒸散を防ぎ、肌を保護するために、油分や日焼け止めで角質表面を覆う方法
- 消す方法:有効成分「抗炎症剤など」で、炎症や赤みなどの症状を和らげる方法
- 隠す方法:コンシーラー・化粧下地で、シミやくすみなどの色素沈着をカバーする方法